



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社ルネサンス

上場取引所 東

コード番号 2378 URL <https://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉田 正昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員最高財務責任者 (氏名) 安澤 嘉丞

TEL 03-5600-5312

四半期報告書提出予定日 2019年11月7日

配当支払開始予定日

2019年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	22,904	0.5	1,834	2.6	1,716	1.9	1,090	12.8
2019年3月期第2四半期	23,027	1.3	1,788	2.8	1,750	6.7	1,250	16.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,099百万円 (11.7%) 2019年3月期第2四半期 1,244百万円 (16.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	66.95	
2019年3月期第2四半期	73.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	37,939	16,077	42.4
2019年3月期	36,684	15,263	41.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 16,077百万円 2019年3月期 15,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		17.00		18.00	35.00
2020年3月期		17.00			
2020年3月期(予想)				18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,700	1.4	4,150	9.7	4,000	10.1	2,500	2.6	153.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	21,379,000 株	2019年3月期	21,379,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	5,094,206 株	2019年3月期	5,098,420 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	16,282,124 株	2019年3月期2Q	16,920,580 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)1ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、売上高が前年同期比0.5%減の229億4百万円となったものの、営業利益は前年同期比2.6%増の18億34百万円となりました。

なお、売上高は、前連結会計年度第3四半期よりエステ、マッサージの業務委託先と契約形態を変更したことに伴う売上高の総額表示から純額表示への変更、及び、前年度の自然災害によるルネサンス千里中央（大阪府豊中市）の閉店等の影響により減少したものです。エステ、マッサージの売上高表示変更に伴う営業利益への影響はありません。

また、営業利益は、原油価格高騰によるエネルギーコストの単価上昇や新業態開発に向けた体制強化により経費は増加したものの、在籍会員者数が421,427名と前年同期比2.2%増加したこと、及び、前連結会計年度にオープンしたスポーツクラブの収益貢献により増益となりました。

経常利益は、前第2四半期連結累計期間の営業外収益等の影響により17億16百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第2四半期連結累計期間の施設閉鎖に伴う受取補償金の影響により10億90百万円（同12.8%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が見られ、緩やかな回復基調であるものの、通商問題をめぐる緊張の増大が世界経済に与える影響が懸念されるとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、原油価格の上昇や金融資本市場の影響等、依然先行きは不透明な状態となっております。

フィットネス業界においては、国民の健康意識の高まりを受けて、利用者の様々なニーズに対応したフィットネス単体の小型施設の出店が続いており、より一層市場が活性化しています。

当社は当連結会計年度を2年目とする中期経営計画（2018-2020）の基本方針に基づき、総合スポーツクラブを中核として、周囲に様々な業態の施設やサービスを組み合わせることで、「地域を健康に！」を実現し、既存事業の着実な成長により収益の拡大を目指すとともに、新たな市場や新規事業の創出に積極的に挑戦し、一層の成長を目指して取り組んでおります。

スポーツクラブ事業において、当社は、地域の皆さまの健康増進の拠点としての役割を担う総合型スポーツクラブを中心として事業を拡大しております。総合型スポーツクラブにおいては、ジム・スタジオ・プール等の施設に加え、温浴施設やラウンジ等のコミュニティスペースを付帯させ、会員の皆様へ充実したトレーニング環境を提供するとともに、お子様から成人まで幅広くご利用いただけるスイミングスクールやテニススクール等のスクール事業を展開しています。

当連結会計年度においては、6月にルネサンス久里浜（神奈川県横須賀市）をオープンいたしました。また、30施設のリニューアルを実施し、施設環境整備や魅力向上を図りました。

新規の会員獲得施策については、会員情報のデータ解析を通じたコミュニケーション等のデジタルソリューションを積極的に活用し、既存クラブの入会者数は、概ね前年並みに推移しています。

さらに、前連結会計年度にオープンしたルネサンス・ライカム（沖縄県中頭郡北中城村）をはじめとして、ここ数年にオープンしたクラブの会員数及び売上が好調に推移し、スポーツクラブ事業全体の収益は順調に推移しています。

介護リハビリ事業においては、元氣ジムの出店を積極的に行っております。当連結会計年度においては、元氣ジムの直営施設として4月に元氣ジム練馬（東京都練馬区）、9月に元氣ジム伊勢佐木長者町（神奈川県横浜市）及び元氣ジム三ツ境（神奈川県横浜市）をオープンいたしました。また、機能改善と生活支援を行う訪問看護ステーションについては、7月に3拠点目となるリハビリステーション大船事業所（神奈川県鎌倉市）を開業いたしました。元氣ジムフランチャイズについては、5月に下津井電鉄株式会社（岡山県岡山市）とフランチャイズ契約を締結し、10月に元氣ジム岡山豊成（岡山県岡山市）をオープンいたしました。これによりフランチャイズ契約企業数は5社となりました。

また、新たな業態としてがん患者の生活の質の維持・向上を運動の側面から支援する施設として、6月に大阪国際がんセンター患者交流棟内にルネサンス運動支援センター（大阪府大阪市）をオープンいたしました。

健康ソリューション事業においては、自治体や民間企業の健康関連施設の開業支援や運営支援等に取り組んでおり、9月に鳥取県西伯郡伯耆町で2拠点目となる役場分庁舎空きフロアを活用した健康増進、コミュニティづくり及び就労機能を有する施設「みぞくちテラソ」の開業を支援いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の国内施設数は、スポーツクラブ126施設（直営98施設、業務受託28施設）、スタジオ業態施設11施設、リハビリ施設27施設（直営22施設、フランチャイズ5施設）の計164施設となりました。

今後の事業展開としては、2020年3月、新たな顧客層の開拓を目指して、ジム・スタジオ特化型の新業態施設「ジム&スタジオ」を東京都内に初出店いたします。なお、「ジム&スタジオ」は、総合型スポーツクラブとの比較において、設備投資を抑え、スピーディな出店が可能であり、地域の皆様の健康づくりの拠点として、首都圏を中心に多店舗展開していく予定です。また、「元氣ジム」の併設等、地域特性に合わせた他業態との複合型モデルにも積極的に取り組みます。

また、2020年3月、東京都港区外苑前に、短時間で高効率なトレーニングによって成果を最大限に引き出すグループワークアウトスタジオ「BETTER BODIES HI（ベターボディーズ ハイ）」を開業いたします。

「BETTER BODIES HI（ベターボディーズ ハイ）」は、自分らしい価値観やライフスタイルを大切にし、自分磨き・自己投資への意欲が高い30～40代のビジネスパーソンにむけたグループワークアウトスタジオです。日常の延長にあるスマートなライフスタイルとして、充実感を感じながらワークアウトができるよう、こだわりの空間やオリジナルグッズ、及び、ドリンク&フードを提供してまいります。

なお、本案件は新規事業新業態提案制度の第2号案件となります。

さらに、第3四半期以降、スポーツクラブ事業において、以下の取り組みを行います。

- 最新のレズミルズプログラムを映像化した「LesMills Virtual™」を全国89店舗で導入
- 最良のカラダを手に入れる個別指導ボディメイクプログラム「2nd Body」を全国34店舗で導入
- ミニトランポリン上でエクササイズを行う「UBOUND® (ユーバウンド)」を全国26店舗で導入
- 会員の皆様とルネサンスをつなぐポータルアプリ「Myルネサンス」を導入

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

イ. 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億54百万円増加し、379億39百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したこと等により流動資産合計が9億19百万円増加したこと、及び新規出店や施設リニューアルに伴い有形固定資産が増加したこと等により固定資産合計が3億35百万円増加したことによるものです。

ロ. 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億40百万円増加し、218億61百万円となりました。これは主に、1年以内返済予定の長期借入金が減少した一方、短期借入金が増加したことにより流動負債合計が9億70百万円増加し、また、長期借入金及びリース債務が減少したことにより固定負債合計が5億29百万円減少したことによるものです。

ハ. 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億13百万円増加し、160億77百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益10億90百万円を計上したこと、前連結会計年度末配当金2億93百万円を支払ったことにより利益剰余金が7億97百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間において、現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は37億44百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間 21億93百万円（前年同期 22億68百万円）

営業活動により得られた資金は、21億93百万円（前年同期比 3.3%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益 16億72百万円（同 12.9%減）、減価償却費 12億60百万円（同 5.0%増）、法人税等の支払額 5億91百万円（同 17.5%減）によるものです。

ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間 △14億66百万円（前年同期 △12億87百万円）

投資活動に使用した資金は、14億66百万円（前年同期比 13.9%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出 14億46百万円（同 23.5%増）によるものです。

ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間 2億54百万円(前年同期△8億45百万円)

財務活動により得られた資金は、2億54百万円となりました。これは主に、短期借入金純増加額16億円、長期借入金の返済による支出12億30百万円(同6.0%増)によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、本資料の公開時点において、2019年5月8日公表の通期連結業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,739,671	3,727,376
売掛金	1,293,539	1,186,836
商品	228,561	201,781
その他	1,363,899	1,429,195
貸倒引当金	△6,304	△6,200
流動資産合計	5,619,367	6,538,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	8,527,507	8,939,559
リース資産 (純額)	7,436,900	7,212,582
その他 (純額)	3,132,436	3,400,410
有形固定資産合計	19,096,844	19,552,552
無形固定資産	1,040,484	1,031,134
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,478,175	8,487,984
その他	2,449,896	2,328,731
投資その他の資産合計	10,928,072	10,816,715
固定資産合計	31,065,400	31,400,403
資産合計	36,684,768	37,939,393
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,554	57,809
短期借入金	600,000	2,200,000
1年内返済予定の長期借入金	2,390,000	1,850,000
未払法人税等	745,464	700,508
賞与引当金	1,001,138	930,422
資産除去債務	2,563	12,000
その他	3,765,244	3,800,182
流動負債合計	8,579,963	9,550,922
固定負債		
長期借入金	2,400,000	2,110,000
リース債務	7,805,670	7,576,932
退職給付に係る負債	721,986	746,253
資産除去債務	966,933	974,559
その他	946,443	903,293
固定負債合計	12,841,034	12,311,039
負債合計	21,420,998	21,861,961

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	4,707,844	4,711,080
利益剰余金	13,541,527	14,338,634
自己株式	△5,147,599	△5,143,390
株主資本合計	15,312,151	16,116,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,605	4,947
為替換算調整勘定	7,840	12,005
退職給付に係る調整累計額	△60,828	△56,226
その他の包括利益累計額合計	△48,381	△39,273
純資産合計	15,263,769	16,077,431
負債純資産合計	36,684,768	37,939,393

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	23,027,004	22,904,816
売上原価	19,948,372	19,767,391
売上総利益	3,078,631	3,137,424
販売費及び一般管理費	1,289,955	1,303,121
営業利益	1,788,676	1,834,303
営業外収益		
受取利息	8,056	7,174
為替差益	30,486	—
受取手数料	13,611	17,441
補助金収入	20,000	—
その他	32,264	16,984
営業外収益合計	104,418	41,599
営業外費用		
支払利息	116,879	123,724
その他	25,630	35,322
営業外費用合計	142,509	159,047
経常利益	1,750,584	1,716,855
特別利益		
固定資産売却益	—	268
投資有価証券売却益	12,435	—
受取補償金	264,177	—
特別利益合計	276,613	268
特別損失		
固定資産除却損	5,187	21,129
減損損失	55,936	—
店舗閉鎖損失	—	23,000
災害による損失	43,685	—
その他	717	160
特別損失合計	105,526	44,290
税金等調整前四半期純利益	1,921,671	1,672,834
法人税、住民税及び事業税	582,688	543,745
法人税等調整額	88,146	38,931
法人税等合計	670,834	582,676
四半期純利益	1,250,836	1,090,157
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,250,836	1,090,157

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,250,836	1,090,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△683	341
為替換算調整勘定	△6,537	4,164
退職給付に係る調整額	1,134	4,601
その他の包括利益合計	△6,086	9,108
四半期包括利益	1,244,749	1,099,265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,244,749	1,099,265
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,921,671	1,672,834
減価償却費	1,201,152	1,260,808
減損損失	55,936	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	19,228	30,897
長期未払金の増減額 (△は減少)	59,279	△28,401
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△92,124	△70,716
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△18,594	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△268
固定資産除却損	5,187	21,129
店舗閉鎖損失	—	23,000
受取利息及び受取配当金	△8,142	△7,290
受取補償金	△264,177	—
支払利息	116,879	123,724
売上債権の増減額 (△は増加)	206,886	106,703
たな卸資産の増減額 (△は増加)	7,600	41,835
前払費用の増減額 (△は増加)	△70,324	△117,006
仕入債務の増減額 (△は減少)	△836	△17,745
未払金の増減額 (△は減少)	△56,454	△166,729
未払費用の増減額 (△は減少)	△69,423	△95,299
前受金の増減額 (△は減少)	115,285	29,733
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△82,144	186,934
その他	△208,765	△84,609
小計	2,838,120	2,909,534
利息及び配当金の受取額	163	221
利息の支払額	△117,429	△125,073
補償金の受取額	264,177	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△716,992	△591,223
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,268,038	2,193,458
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	12,436	—
有形固定資産の取得による支出	△1,171,485	△1,446,508
有形固定資産の売却による収入	—	740
無形固定資産の取得による支出	△236,900	△109,503
敷金及び保証金の差入による支出	△86,704	△48,609
敷金及び保証金の回収による収入	133,730	69,669
その他	61,447	67,997
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,287,475	△1,466,214
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	1,600,000
長期借入れによる収入	600,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△1,160,000	△1,230,000
リース債務の返済による支出	△181,697	△222,355
自己株式の取得による支出	—	△89
配当金の支払額	△303,777	△293,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	△845,475	254,104
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,537	4,164
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	128,549	985,514
現金及び現金同等物の期首残高	3,227,927	2,759,281
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,356,476	3,744,795

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。